

被災者支援を回顧 学び共有

石巻 福祉団体、活動終了前に



活動を振り返る現役や元スタッフら

東日本大震災直後から石巻市で活動し、3月で業務を終了する日本医療ソーシャルワーカー協会石巻事務所の活動を振り返るフォーラムが28日、同市の石巻赤十字病院であった。現役や

元スタッフら8人がエピソードを交えながら活動で学んだことなどを共有した。東京都のケアマネジャー久保木美由紀さん(47)は、周囲との関係を築くのが難しい男性の就業支援での苦労を明かし「すぐに解決し得ない問題が山積みの中でどのように生活再建するか

が、活動の大きなテーマだった」と話した。石巻市立病院の社会福祉士松川夏実さん(35)は「思いがあつて活動に来る方が多く、疲弊しがちだ」として、スタッフのサポートの

重要性を指摘した。同協会は2011年7月、市の委託を受けて本格的に活動を始めた。フォーラムは協会が主催し、関係者ら約110人が参加した。